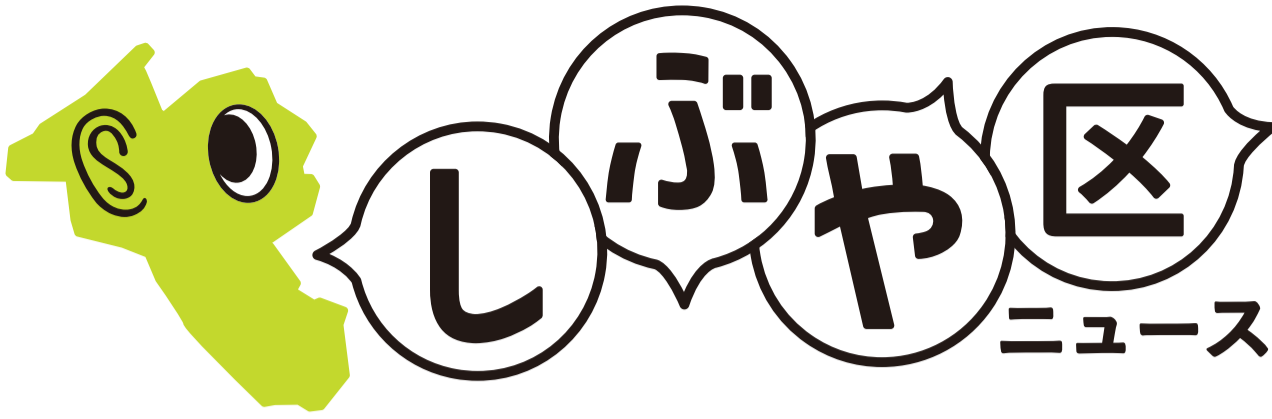


顔が見える。声が聞こえる。人をつなぐ。渋谷区からのお便りです。

令和2年
(2020年) 8月1日

No.1442



発行 | 渋谷区
編集 | 広報コミュニケーション課
所在地 | 〒150-8010 宇田川町1-1
電話 | 03-3463-1211 (代表)
HP | www.city.shibuya.tokyo.jp/
Twitter | @city_shibuya
Facebook | @shibuya.city
Instagram | @city_shibuya_official
LINE | @shibuyacity



渋谷区立笹塚中学校教職員

多彩なテクノロジーを取り入れて。
最先端の環境で、わくわくできる学校に。

2	学びのピンチをチャンスに変える！	4	心身障害者福祉手当などの案内	6	フードデリバリー等利用促進キャンペーン	8	くらしの情報
3	「チーム笹塚」の挑戦。	5	ほか	7	第2弾を実施します ほか	11	

渋谷区基本構想が掲げる渋谷区の未来像「ちがいを ちからに 変える街。渋谷区」

学びのピンチをチャンスに変える!「チーム笹塚」の挑戦。

渋谷のラジオで
出張インタビュー

渋谷区ICT教育推進校に指定されている区立笹塚中学校の駒崎彰一校長に、1人1台のタブレット端末を活用したオンライン学習について、話を聞きました。



臨時休校中の
オンライン学習で、
生徒も教員も大きく
成長しました。

渋谷区立笹塚中学校
こさざき しょういち
駒崎 彰一 校長

最先端のテクノロジーを活用し、学ぶ意欲を高める。

——笹塚中学校の基本方針について教えてください。

駒崎：「“やっちゃえ”SASAZUKA」を基本方針に掲げています。これからの社会では「仲間とともに新しいことを創り出す力」が求められ、新しいことを躊躇なく始められる「実行力」と、それを最後までやりきる「突破力」が必要となります。それを生徒にも教員にも身に付けてもらいたいという思いを基本方針に込めました。学校生活の中でも折に触れて「いいと思ったらすぐにやろう。続けてみよう」と声掛けしています。

——笹塚中学校は渋谷区のICT(情報通信技術)教育推進校に指定されていますね。

駒崎：そもそも学校という場所は最先端であるべきだと思うんです。私は長年、文部科学省のICT教育推進業務に携わってきたのですが、ほとんどの公立学校で20~30年前の設備がそのまま使われている現状を目の当たりにしました。社会ではこれだけデジタル化が進んでいるのに、学校は時間が止まっているんです。最先端の環境で、生徒がわくわくしながら学べる学校をつくるために、渋谷区だけでなく、企業や大学にもご協力をいただいで、さまざまなテクノロジーを取り入れています。ただ、テクノロジーはツールですから、目的を持って効果的に使うことが大切だと思っています。

——渋谷区では平成29年9月より、区立小中学校にタブレット端末を1人1台貸与しています。授業ではどのように活用されていますか？

駒崎：授業中の調べものはもちろん、AI(人工知能)によるキーワード分析を取り入れた話し合い学習、ドローン操縦・プログラミングによる動画制作、音声合成ソフトを使ったデジタル作曲、VR^{※1}による田植え疑似体験など、幅広く活用しています。こうしたデジタルツールを使うことで、生徒たちはより主体性を持って授業に取り組めるようになったと感じます。また、渋谷区の生徒たちに配られているタブレットはLTE^{※2}回線なので、校内だけでなく、課外授業や家庭学習でも使えるのが魅力です。教員にも1人1台貸与されていて、クラウド上で情報を共有できるので業務の効率化にもつながっています。現在、本校では職員会議はほぼゼロですし、ペーパーレス化もかなり進んでいます。

※1 VR(バーチャル・リアリティ)。コンピューター上に人工的な環境をつくり出し、あたかもそこにいるかのような感覚を体験できる技術。
※2 Long Term Evolutionの略称。無線で3Gより早く接続できる技術として開発された。LTE搭載端末は、Wi-Fi環境にない場合でもネットワークに接続できる。

試行錯誤で創り上げた、休校中のオンライン学習。

——今年は新型コロナウイルス感染拡大の影響で、休校になる期間がありました。学習面のサポートはどのようにされていましたか？

駒崎：今回の臨時休校は急なことだったので、全校生徒にタブレットと充電ケーブルを持って帰ってもらうことを最優先しました。翌日から、教員たちと「チーム笹塚」として、臨時休校の中でいかに学びを続けるかを議論しました。家にあるゲームやテレビなどの誘惑に負けず、生徒が学びたくなるような学習課題をつくろうと知恵を絞りました。4月以降は、私と副校長以外の教員は在宅勤務をしながら、オンライン学習プログラムづくりを進めていきました。

——オンライン学習の具体的な内容を教えてください。

駒崎：数学では「デジタル教科書」を使って先生が解説する動画を配信したり、音楽では家族で楽しめる手遊び歌を配信したりしました。体育では「東京五輪音頭」の解説付きビデオを配信し、自分で踊る姿を撮影した動画を提出するという課題を出したのですが、公園で踊る子、浴衣を着て踊る子など、個性豊かでした。生徒たちはデジタル世代なので、こうして環境を整えてあげれば、すごい力を発揮するんだと改めて感じました。5月になると全端末にウェブ会議システムが導入され、授業中に分からないことがあればチャットで質問をしたり、名前を呼ばれたら返事をしたりと、双方向型のオンライン授業や学級活動もできるようになりました。

——休校期間中、生徒たちは生活リズムが付きにくかったと思います。どのように工夫されましたか？

駒崎：毎日の時間割をつくり、オンラインでホームルームを開いて出席

を取りました。ただ、最初の頃は1日分の学習課題を朝まとめて配信していたので、午前中に課題を済ませて午後は遊んでしまう子もいたんです。そこで始めたのが、各授業の始業時刻に学習課題を配信する「頭の中でチャイムを鳴らせ!」プロジェクト。生徒には厳しかったと思いますが、保護者の皆さんからは「毎朝ちゃんと起きるようになった」「午後も勉強している」と非常に好評でした。なかなかいい作戦だったと思います(笑)。

——生徒の心のケアなどはどのように対応されましたか？

駒崎：課題の提出がない生徒には電話でフォローをしたり、オンライン学年集会やホームルームで生徒同士が交流する時間を設けたりしました。特に新1年生は不安が大きいと感じたので、先生の自己紹介をしたり、卒業式の動画を使って校歌を覚えてもらったり、学校に親しみを持ってもらえるように心掛けました。2・3年生も朝の会・帰りの会に、なぞなぞやじゃんけん大会などのレクリエーションを取り入れて楽しんでいました。私も時々参加しましたよ(笑)。「顔が見られて安心した」と、みんなうれしそうでした。

——休校期間中のオンライン学習を振り返ってみて、いかがですか？

駒崎：この3ヶ月は、本当に試行錯誤の連続でした。教員はベテランから若手までが一つのチームになって、お互いを支え合いながら、オンライン授業を進めていました。最初の頃は、うまく接続できない、音声や映像が途切れてしまうなどのトラブルが続出しましたが、画面上からも伝わるほどの教員の熱意ある指導に、生徒も根気よく付き合ってくれました。一方で、オンラインでは学習の進度を一人一人に合わせる事が難しいため、課題が溜まってしまいうも見受けられました。データを分析しながら課題の量などは調整していましたが、生徒も教員も本当によく頑張ってくれて、大きく成長することができたと思います。

最新型タブレットを導入し、より質の高い授業を。

——6月からは分散登校が始まりましたが、授業や部活動などはどのように進められたのでしょうか？

駒崎：生徒たちの精神面と体力面のケアを第一に考え、慎重に進めていきました。学校再開時はアンケートを実施し、スクールカウンセラーに丁寧に対応してもらったほか、授業や部活動の時間も段階的に増やしていきました。また、密集を避けるため、授業は各学年2クラスを4クラスに分けて行いました。一つの教室では教壇に教員が立つ通常通りの授業を行い、他の教室にはその様子をオンラインで配信し、音声をつないで質問や回答を行っていました。アナログ授業とオンライン授業を組み合わせたハイブリッド型の授業です。

——オンライン学習における今後の目標を教えてください。

駒崎：区内の小中学校では今年9月から全てのタブレット端末が最新の「Surface Go 2」に入れ替わります。スペックが飛躍的によくな

るので、よりスムーズで質の高いオンライン学習ができるのではないかと期待しています。まだ先の見通しが立たない状況で正直不安も大きいですが、こういうピンチの時こそ新しいことを創造するチャンス!教員も生徒も、そういう前向きな気持ちで取り組んでくれると思います。

——最後に、区内の児童・生徒や保護者へのメッセージをお願いします。

駒崎：本校をはじめ、渋谷区の小中学校では休校中もオンライン学習を進めてきたので、授業の遅れはほとんどなく、夏休みも大幅短縮をせずに迎えることができました。今後何かあっても、すぐにオンライン学習が進められる体制も整っています。生徒はここまでよく頑張ってきたので、夏休みはゆっくり休んでもらいたいです。渋谷区は教育資源が豊富で、最先端のテクノロジーが集まるエリアですので、子どもたちには、こうした環境をフル活用して、いろいろなことにチャレンジしてもらいたいです。地域の皆さんにも、未来を担う子どもたちの教育に興味・関心を持っていただき、渋谷区から全国に新しい学びを発信していけたらと思っています。



▲この秋導入予定の新タブレット端末「Surface Go 2」



▲ドローンをを用いた学校行事の撮影を積極的にこなしている。生徒が操縦できる小型機も。

渋谷区立笹塚中学校

1948年創立、全校生徒159名。東京都教育委員会情報教育研究校、渋谷区教育委員会研究指定校、渋谷区ICT教育推進校として1人1台のタブレット端末やドローン、VRなどのテクノロジーを活用した教育活動を展開しています。学校のウェブサイトにアクセスすると、分散登校中の時間割や学習課題を見ることができます。

<https://www.fureai-cloud.jp/sasazuka/>

このインタビューは8月4・11日に「渋谷の星」で放送します。

問広報コミュニケーション課広報係 ☎3463-1287 📠5458-4920

<p>渋谷区の番組を放送中です</p> <p>ラジオ しぶや区ニュース (10分間) 月~木 11:00/16:00/21:50 「しぶや区ニュース」の情報を発信します。</p>	<p>渋谷の星 (45分間) 火 11:15 渋谷区で活躍する人たちが登場します。</p>	<p>渋谷のくらし (30分間) 火 16:20 地域の催しなどの様子を伝えます。</p>	<p>ラジオ しぶや区ニュース (区長の部屋ほか) (10分間) 金 11:00/17:00/19:50 長谷部区長が出演します(ラジオしぶや区ニュースの内容になる場合あり)。</p>
--	---	---	--

「しぶや区ニュース」では毎月、「渋谷のラジオ」と連動したページを掲載。「しぶや区ニュース」と「渋谷のラジオ」が連携して、人と人のつながりが広がる紙面を届けています。

周波数:
87.6MHz FM ☆公式アプリでも聴取可能

所在地 | 渋谷3-22-11 サンクスプライムビル1階 TEL | 6712-6876
FAX | 5778-9620 E-MAIL | info@shiburadi.com HP | shiburadi.com/